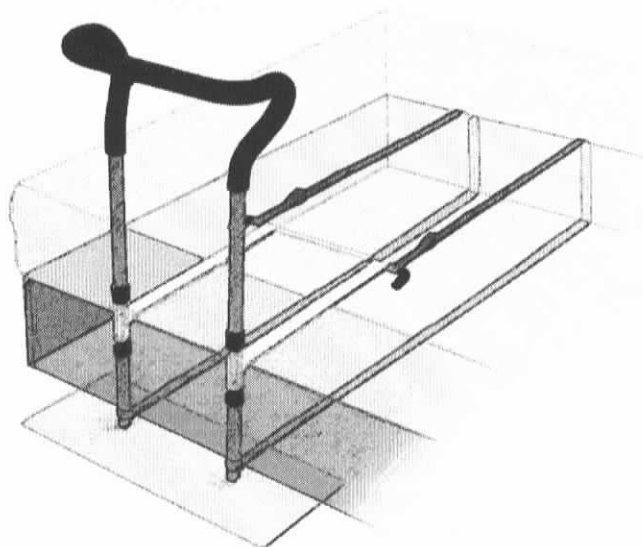


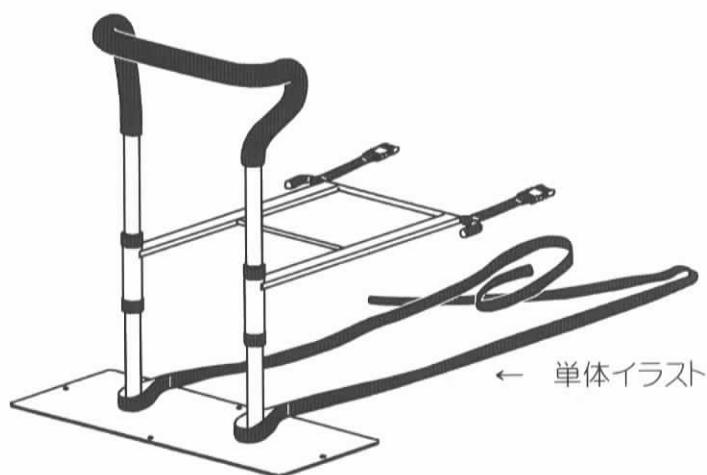
イーストアイ セーフティーベッドアーム ワイドグリップタイプ (品番：MB30)



↑ 取り付け例

【特徴】

- ベッドからの立ち上がりが楽になります。
- 家庭用ベッドの簡易手すり。
- 特別な工具やベッドへの穴あけは不要です。
- ベッド本体にベルトで固定して取付ます。



← 単体イラスト

【基本仕様】

材 質	手すりパイプ：スチール（握り手：発泡ゴム） ベース、床プレート、手すりパイプ取付ネジ、六角レンチ、木ネジ：スチール 固定用ベルト：ポリエステル（バックル：ポリアセタール）		
使用時サイズ	使用時：幅60 × 奥行62 × 高77.5cm（固定用ベルトを除く）	本体重量	約8.5kg
梱包サイズ	幅79 × 奥行45 × 高19cm	梱包重量	約10kg

【ご使用前に】

この「セーフティーベッドアーム ワイドグリップタイプ（品番：MB30）」は、歩行補助具なし、または一本杖を使用して歩行できるくらいの方を対象とし開発した家庭用ベッドの簡易型補助手すりです。

この手すりは固定用ベルトを使用して固定し、さらにマットレスをのせることで安定します。手すりの固定が不十分な場合、使用時に手すりが動いて、ベッドの破損や使用される方が横転するなど思わぬ事故の原因になりますので、取付前にベッドの形状などをご確認の上ご使用ください。

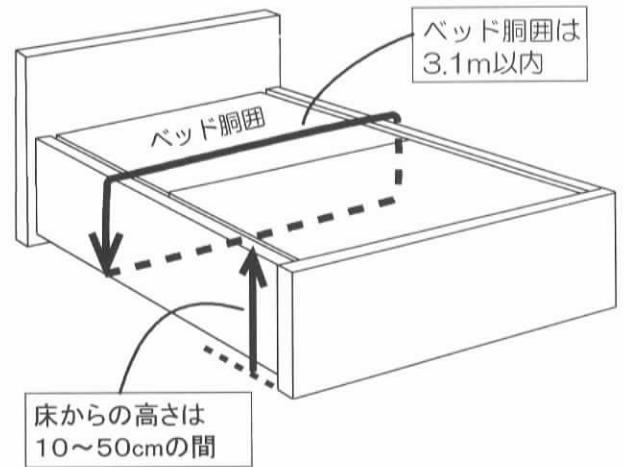
また、セーフティーベッドアームの使用に際しては、専門家（医師、理学療法士、ケアマネージャー、介護福祉士等）にご相談ください。

【取付前の確認】

ベッドへの取付前にこの手すりがベッドへ取付できるかどうかご確認ください。ベッドが下記の条件にあてはまる場合には、手すりの取付ができないことや、取付・使用に際して注意していただく必要があります。

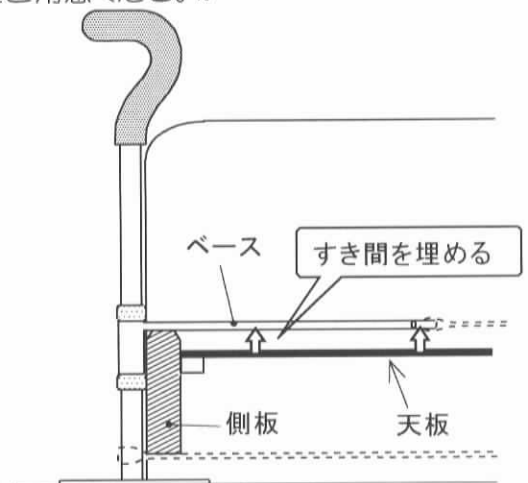
<1. 取付ができないベッド>

- ①床面からベッド天板までの高さ(マットレスは含みません)が10~50cmにないベッドの場合。
- ②ベッド胴囲が大きく、固定用ベルトの長さが足りずに手すりを固定できないベッドの場合。手すり取付個所のベッド胴体周りが3.1mよりも大きなベッドには取付できません。
- ③ベッド面に天板がないベッドの場合。
この手すりは、ベースを天板にのせて安定させるため、天板のないベッドには取付できません。
- ④ベッドの側板やフレームの強度が固定用ベルトの締付けや手すりの使用に耐えられないベッドの場合。



<2. 取付・使用時に注意が必要なベッド>

- ①マットレスを使用しないタイプのベッド(布団をベッドの上に敷いて使用する通称「畳ベッド」など)の場合。
セーフティーベッドアームをご使用の際には、厚手のマットレスをご用意ください。
- ②側板が天板よりも上に突き出ているタイプのベッドの場合。
(右図参照)
ベースと天板の間にすき間ができます。この状態で手すりを使用されると、手すりやベッドが破損する恐れがあります。このタイプのベッドに手すりを取付ける場合には、ベニヤ板などで側板の高さまでベッド天板をかさ上げしてすき間を埋めてください。
- ③下部に引き出しがあるベッドの場合。
引き出しが使用できなくなる場合があります。
- ④折りたたみ式のベッドの場合。
セーフティーベッドアームを取り付けた状態での折りたたみはできません。
- ⑤軽量のベッドの場合。
使用時にベッドがずれることがあります。ベッドがずれやすい場合には、ベッドを壁際に設置するなどのズレ対策を行ったうえ、十分に注意してご使用ください。
- ⑥「パイプベッド」など、フレームが金属製のベッドの場合。
* 木製ベッドに取付けた場合に比べ、金属フレームのベッドへ取付けた場合には手すりが滑りやすく、固定が不十分になる恐れがあります。この場合には、ベッドの傷つき防止のためにも、市販のゴム製のシートをベッドに貼付けるなどの処置をおすすめします。



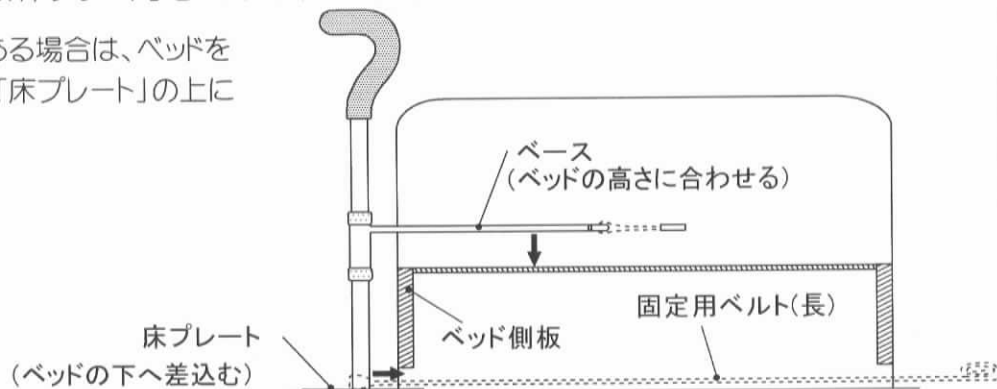
【ベッドへの取付方法】



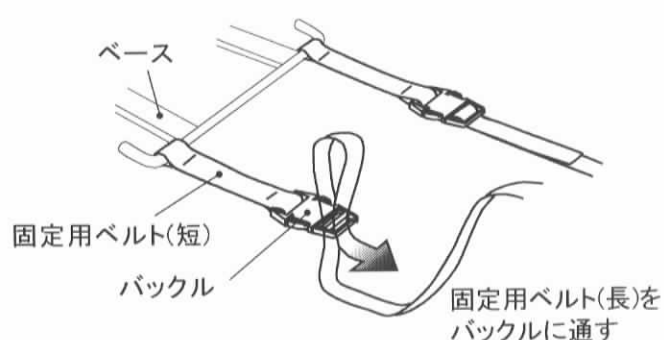
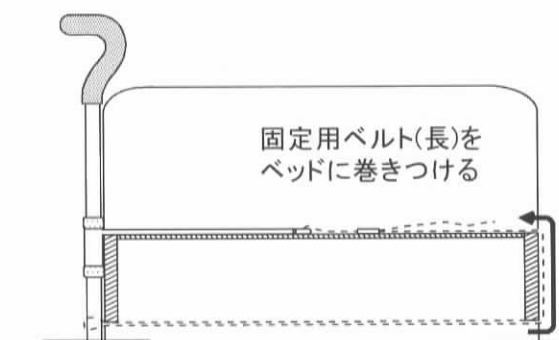
注意 取付けの際には、指はさみにご注意ください。

1. 「固定用ベルト(長)」と「床プレート」をベッドの下に差込み、「ベース」の高さをベッド面に合わせます。

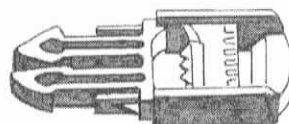
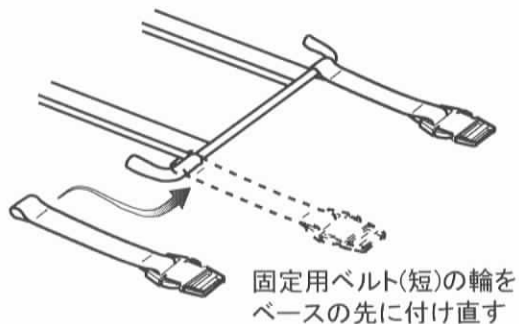
※ベッドの側板が床までである場合は、ベッドを「固定用ベルト(長)」と「床プレート」の上ののせます。



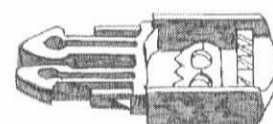
2. 「固定用ベルト(長)」をベッド胴体に巻きつけ、「ベース」先端の「固定用ベルト(短)」の「バックル」に通して固定します。この際、ベルトにねじれがないようにしてください。



「固定用ベルト(短)」が、「ベース」から外れている場合には、「バックル」の表が上になる向きで、左下図のように付け直してください。



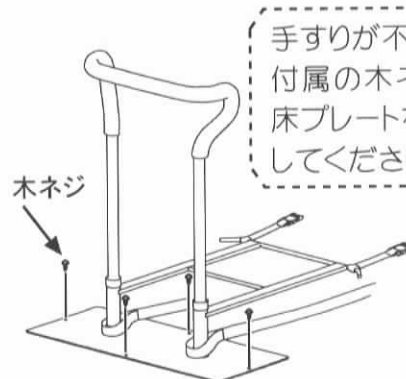
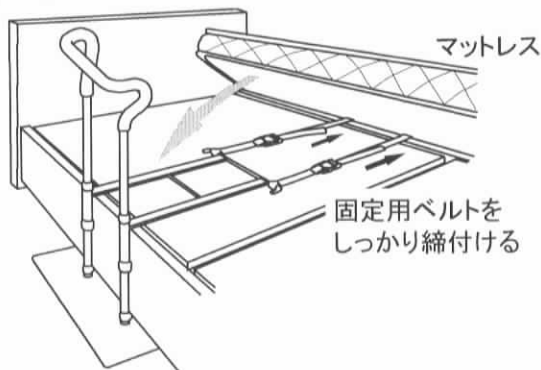
表



裏

バックルの表・裏の向きが違くと、固定用ベルトを締付けても固定できません。

3. 「固定用ベルト」を締付けて手すりをベッドにしっかりと固定し、マットレスをのせます。



手すりが不安定な場合は、付属の木ネジを使って床プレートを4ヶ所固定してください。

【取付後の確認と注意】

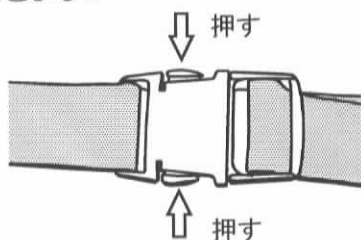
⚠ 警告

- 手すりがぐらつかないことをご確認ください。手すりぐらつく場合、ベルトがゆるんでいることが考えられます。ベルトを締付けても手すりが不安定な場合には、使用を中止してください。
- 「畳ベッド」など、マットレスのないタイプのベッドに取付けて使用する場合にも、厚手のマットレスを敷布団の下に敷いてください。

【ベッドからの取外方法】

一時的に手すりをベッドから取外す場合には、バックルの操作で容易に着脱できます。

バックルの矢印部分を左右から押せばロックを解除できます。



再度手すりを取付ける際には、ベルトをゆるめてからバックルをはめ合わせ、ベルトを締付けて固定してください。



無断転載・複写を禁じます

《製品についてのお問い合わせ先》

EAST
EAST I CO. LTD

株式会社 イーストアイ(発売元)
〒123-0864
東京都足立区鹿浜1-4-14
TEL03(3897)9393 FAX03(3897)9535

[MB30 070111]